

Tsukuba D&I ▶▶ #02 インクルージョンって何？

第1回のおさらい：ダイバーシティって何？

「つくばダイバーシティ&インクルージョン(D&I)」の第1回(5月号)では、「ダイバーシティ(多様性)」について紹介しました。これは、年齢などの「目に見える違い」だけでなく、性自認・性的指向や価値観などの「目に見えない違い」も含め、多様な個性を持つ人々が集まっている状態を指します。今回はD&Iのもう一つの大切な要素、「インクルージョン(包摂性)」について紹介します。



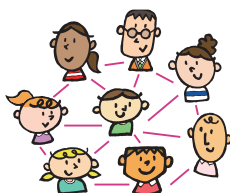
「インクルージョン」って何？

「インクルージョン」とは「包摂性」のことで、多様な「違い」を持つ人々が、それぞれの「違い」を尊重し、自分らしく安心していられる環境を指します。ただ存在するだけでなく、誰もが「ここにいていい」と感じ、つながりを持てる状態です。



ダイバーシティ

多様な「違い」を持つ人々が集まっている状態



インクルージョン

それぞれが「違い」を受け入れ、安心してつながりを持った状態



インクルージョンな環境をつくるにはどうしたらいいの？

「自分がこうだから相手もこうだ」と思い込むのではなく、「人はそれぞれ異なる価値観を持っている」ことを理解し、対話を通じて「相手が何を望むか」を確認しながら、お互いの「違い」を認め、話し合える信頼関係を築いていくことが重要です。



「D&I」が実現されていない状態だとどうなるの？

多様な個人が存在していても、一部の「違い」を持つ少数派の人たちの存在が見えにくく、意見が埋もれてしまったり、疎外感を感じてしまったりする状態です。多数派の考え方や進め方が中心になり、少数派の視点や声が届きにくくなります。



「D&I」が実現された社会ってどんなイメージ？

D&Iが実現されると、多様な人たちがお互いの「違い」を尊重し、個性を生かしながら調和し、より良い社会を共に築いている状態になります。一人一人の個性やそれぞれの強みを生かしながら豊かな関係性を築くことで、誰もが自分らしくいられる社会になります。



過去の連載記事は

市ホームページをご覧ください▶

